

## ツイッターによる学問分野を超えた情報の交換と共有 Information exchange among researchers of various fields using Twitter

小口 高<sup>1\*</sup>, 早川 裕弐<sup>1</sup>

OGUCHI, Takashi<sup>1\*</sup>, HAYAKAWA, Yuichi S.<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東京大学

<sup>1</sup>Univ. Tokyo

日本地球惑星科学連合の発足と発展を通じて、日本の地球科学の研究者の交流が活発化した。特に、地質学・鉱物学・地理学・地球物理学といった地球科学の諸分野の相互交流と相互理解が深まり、個々の分野の学会のみが存在した時代とは状況が変わってきた。これは地球科学の学際的な発展に望ましい状況である。一方、物理学・化学・生物学・工学・農学などの他分野との交流は、まだ相対的に限られている。地球科学には、これらの分野と強く関係する要素も含まれる。また、地球科学の存在や意義を多様な学問分野の研究者に理解してもらうことは、地球科学の長期的な発展のために重要である。

ソーシャルメディアは上記のような学問の分野を大きく超えた交流に有効である。本発表では、ツイッターがこの種の交流に貢献した事例を示す。具体的には、論文等の出版物における数値と単位の記載法について地球科学者がツイートした内容が、多くの分野の人によって閲覧およびコメントされ、その過程で国内外の状況が詳しく明らかになった。その結果、地球科学での常識が他分野の常識とは必ずしも一致しないことなどが判明した。この種のソーシャルメディアを通じた交流は、学際的な学会の設置やシンポジウムの開催などを必要とせず、きわめて高速で情報を交換できるという利点がある。とりわけツイッターのリツイート機能は、効率的な情報交換の有効な手段となる。今後、ソーシャルメディアによる異分野交流の促進を、地球科学者が積極的に模索していく必要がある。

キーワード: ソーシャルメディア, ツイッター, 異分野交流, 相互理解

Keywords: social media, Twitter, interaction among different disciplines, mutual understanding